

YACかわら版734

2026年7月21日

7月21日14:00頃



シーモア海峡

34.2324, 134.6251
鳴門海峡

メッシーナ海峡
38.2475, 15.6392

世界三大潮流共有URL
<https://go.nasa.gov/4wLmKGS>

本号は世界三大潮流のシーモア海峡が舞台です。カナダの**バンクーバー島**の東側の海峡です。海峡は長さ 約 5 km、最も狭い場所の幅 約 750 m、平均水深 約 100 m、大潮時の潮流は 最大 時速約 28 ~ 30kmに達します。

海峡通過の船舶を調べるため船舶位置情報サイトを開くと、ちょうどクルーズ客船が通過したところでした。① 今日では10万総トンクラスの船も航行できますが、1958年までは海面下2~3mに鋭い岩の突起をもつ暗礁を爆破するまで、100隻以上の船舶が沈没・損傷していました。

潮流は満潮と干潮とで流れる方向が変化します。潮流の向きが入れ替わる時間があります。潮の動きが最も緩(ゆる)やかになる時間です。スラック・ウォーター (Slack water) といいます。日本語の「潮だるみ」です。センチネル2 観測画像に注目です。 ②③

②：潮だるみの時間でしょうか、2つの筏(いかだ)が見えます。

③：波頭がぶつかりあっているのか海面が白くみえます。通過した筏も。

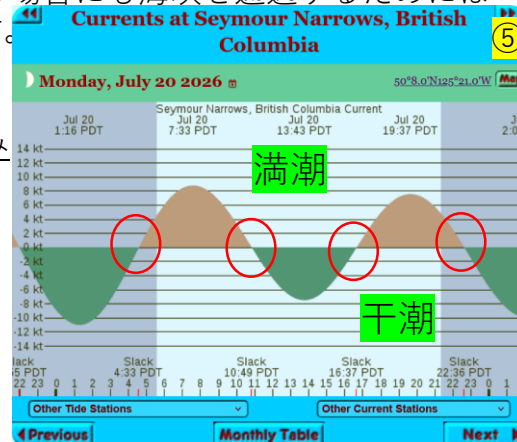
豊かなカナダの森林から切り出された樹木は筏に組んで運ばれるが、専用の船で運び出されています。いずれの場合にも海峡を通過するためには正確な潮汐(ちょうせき)情報が必要です。

カナダ政府関係機関サイト

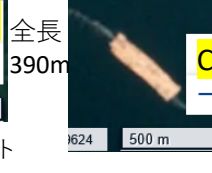
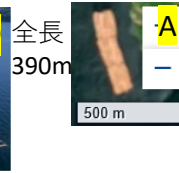
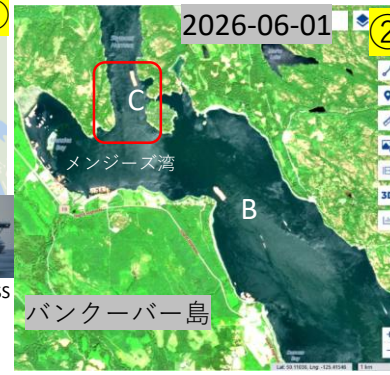
(<https://www.tides.gc.ca/en/stations/08105>) の潮汐データを活用して、毎日の潮だるみ情報を提供するサイトがあります。 ⑤

(<https://www.dairiki.org/tides/daily.php/sev>) 潮位がゼロの部分のわずかな時間が潮だるみです。この時間に合わせて筏がシーモア海峡を通過しています。

②の**メンジーズ湾**は、潮だるみ時間調整のために使用している場所です。



EMERALD PRINCESS
289 × 36m
約11万総トン
@vesselfinder.com



<https://vimarina.ca/latest-news/transiting-seymour-narrows-desolation-sound/>

前号のメッシーナ海峡の潮の速さはで、時速約7~10 km、大潮時で時速約14.8kmといわれています。最狭部で約3 kmあります。シーモア海峡を通過する船舶のために幾つかのルールがあるようです。

- ・10~14ノットへの減速が義務付けられています。
- ・水路管制官(MCTS)に対して通過予定時刻を事前に通報しなければなりません。航行順序や、すれ違いのタイミングが調整されます。
- ・航行速度が遅い船やクルーズ船など大型船舶は、原則として潮だるみの前後数分間のみしか通航が許可されません。

バンクーバー周辺の木材運搬では、おどろくような方法で木材を運んでいます。

(船体を傾け、積荷を一気におろすダンプ中) 衛星画像では、このような現場は確認できませんね。



<https://youtu.be/Xv-hYmKgZfo?t=5>